

- 「2006国際医療ICTシンポジウム」開催のお知らせ  
ー安心・安全の医療社会基盤を創る:先端情報通信技術と先端医科学の連携ー
- 平成18年11月24日

独立行政法人 情報通信研究機構(NICT。理事長:長尾 真)は、横浜国立大学(学長:飯田 嘉宏)、横浜市立大学(学長:ブルース・ストロナク)との共催により「2006国際医療ICTシンポジウム(ISMICT 2006)」を12月1日(金)、2日(土)の2日間に渡り横浜で開催します。

健康で安心・安全な社会の構築は、日本のみならず世界共通の課題です。あらゆる種類の疾病、飢餓や災害に起因する健康被害から人々を守り、安心で安全な社会を構築していく上で、保健や医療の現場における最先端の科学技術、とりわけ情報通信技術(ICT)を活用していくことの重要性が広く認識されています。

そこで、最先端の科学技術と医療の現場、さらには社会システム整備に関する関係者の国際的な情報交流と議論の場を提供することを目的に、情報通信研究機構(NICT)、横浜国立大学(YNU)、横浜市立大学(YCU)の3機関が共同で「2006国際医療ICTシンポジウム(ISMICT 2006)」を開催することとしました。

今回のシンポジウムでは、特別企画として市民講座(GEL \* シンポジウム)も開催し、健康と安心・安全な社会基盤の構築について市民の皆様方とともに考える機会も設けています。

研究者、行政関係者や産業界はもとより、幅広い一般の皆様方のご参加をお待ちしています。

( \* GEL: COE Projects for Communication, Environment and Life Science )

## 記

### 2006国際医療ICTシンポジウム(ISMICT 2006) 安心・安全の医療社会基盤を創る - 先端情報通信技術と先端医科学の連携 -

◆日時:	平成18年12月1日(金) 医療ICTシンポジウム(国際学術研究集会) 10:00~17:00(レセプション 17:00~18:30)  同12月2日(土) 特別企画:GELシンポジウム(市民講座) ー健康・安心・安全な社会構築に向けてー 10:00~12:30
◆場所:	横浜市立大学 福浦キャンパス ヘボンホールおよび講堂 会場情報: <a href="http://www.yokohama-cu.ac.jp/access/access.html">http://www.yokohama-cu.ac.jp/access/access.html</a>
◆主催:	横浜国立大学、情報通信研究機構、横浜市立大学
◆協催・協賛:	IEEE Tokyo Chapter、電子情報通信学会医療ICT研究会(協催)、NICT医療ICTコンソーシアム、よこはまCEL-Triangle研究機構
◆後援:	文部科学省、総務省、神奈川県、横浜市都市経営局、YRP研究開発推進協会
◆参加費用:	初日有料(5,500円)、二日目無料
◆内容の詳細:	事務局ホームページ: <a href="http://www.ilcc.com/ismict/">http://www.ilcc.com/ismict/</a>
◆お申し込み方法:	上記ホームページから、または、FAX,携帯電話でできます。 ○Faxの場合 :03-5562-3666 ○携帯電話で:右のQRコードから



<問合せ先>

情報通信研究機構

総合企画部広報室

栗原 則幸、大野 由樹子

Tel: 042-327-6923、Fax: 042-327-7587

<本件に関する問合せ先>

横浜国立大学

未来情報通医療社会基盤センター(医療ICTセンター)

担当教授 塩見 正(事務局)

Tel&Fax:045-339-4490

情報通信研究機構 医療支援ICTグループ

河野 隆二、浜口 清

Tel: 046-847-5073、Fax: 046-847-5431

---





## 2006 国際医療ICTシンポジウム

2006国際医療ICTシンポジウム(ISMICT2006)は、横浜国立大学(YNU)、横浜国立大学(YCU)、報通信研究機構(NICT)の3機関共同により、開催されます。医療ケアサービスにおける情報通信技術(ICT)の最新の多様な活用面や将来展望についての情報交流と、健康で安心・安全な社会構築に向けての幅広い議論を目的としています。

**ISMICT 2006**  
▶ First Call for Participation

**開催日** 2006年12月1日(金) - 2日(土)

**会場** 横浜国立大学福浦キャンパス ヘボンホール(1日午前、2日)、附属病院10F講義室(1日午後)

**参加費** \*技術資料代(講演予稿集CD-ROM等)

### (1日目) 医療ICTシンポジウム(国際学術研究集会)

<一般>

- ・2006年11月15日まで: ¥5,000
- ・2006年11月16日以降(当日含む): ¥5,500

\*参加費の払い戻しはいたしません。予めご了承ください。

<学生> 無料

(2日目) CELシンポジウム「健康・安心・安全な社会構築に向けて(市民講座)」: 無料

### 12月1日(金) 医療ICTシンポジウム(国際学術研究集会)

ISMICT2006初日は、世界的に著名な学識者による国際規制や医療ICTに関するプロジェクトについての基調講演、多岐にわたる重要なテーマや技術を取り上げた技術セッションから構成されます。

シンポジウムで取り上げられるテーマには下記の分野に渡ります。

- アンテナと電波伝搬 ■標準化の諸問題 ■システムと信号処理 ■医療アプリケーション
- ハードウェア構成と実現技術 ■システムと信号処理

使用言語: 英語/日本語(同時通訳: 無し)

### 12月2日(土) CELシンポジウム: 健康・安心・安全な社会構築に向けて(市民講座)

- 医療ICTシンポジウム特別企画 -

ISMICT2006 2日目は、特別企画として、健康で安心・安全な社会構築シンポジウムを開催し、「クオリア」で有名な脳科学者の茂木健一郎博士の特別講演(予定)の他、現在活躍中の講師による講演と討論を行います。この企画は、横浜国立大学の通信(C)と環境(E)に関する2つのCOE(研究拠点)と、横浜国立大学の生命科学(L)に関するCOEの連携によるCELトライアングル・シンポジウムを起源とするものです。

「クオリア」は、「赤の赤らしさ」など、感覚に伴う独特の質感を指します。私は、クオリアを鍵として、脳の計算原理を研究しています。脳の情報処理の特徴である、「統合された並列性」を理解するために、クオリアは中核となる概念です。



茂木健一郎(もぎけんいちろう)博士  
脳科学者、ソニーコンピューターサイエンス研究所シニアリサーチャー  
([http://www.qualia-manifesto.com/research/research\\_j.html](http://www.qualia-manifesto.com/research/research_j.html)より抜粋)

使用言語: 日本語

[PAGE TOP](#)

ISMICT 2006 ホーム プログラム 参加お申込み 開催機関および委員会 アクセス ENGLISH

お問合せ先

医療ICTシンポジウム事務局 ((株) ILCC内)  
E-mail: [ismict2006@ilcc.com](mailto:ismict2006@ilcc.com)  
Tel: 03-5562-3677 / Fax: 03-5562-3666

